

医学系研究科医学専攻（博士課程）カリキュラム・ポリシー

旭川医科大学大学院医学系研究科医学専攻（博士課程）では、学生が専攻する科目において先端的な研究を目指す「研究者コース」と臨床研究や臨床試験を推進する能力を涵養する「臨床研究者コース」の2つのコースを設けています。いずれも所属研究室における直接的な個人指導を基本とします。学生は自由かつ学問的な雰囲気の中で研究活動を行い、質が高く達成感のある研究成果を自ら獲得します。同時に、2年単位で展開される一連の共通講義（先端医学特論、基盤医学特論、医学論文特論）を受講し、医学研究を遂行する上で必要な基礎的知識、幅広い応用的知識、倫理的素養を身につけます。このような総合的な大学院教育を通じ、将来の医学を支え、地域社会からの要請に応えうる指導的な人材を育成します。

学生は始めに上記いずれかのコースを選択しますが、研究の進展に応じ、コースの途中変更が可能です。また、研究の遂行に有益と認められる場合には、学内の他の研究室において指導を受けることや海外を含めた学外の大学院、研究所で研鑽を積むこともできます。さらに、初期臨床研修の1年目から大学院に在籍し、研究を早期にスタートさせる制度も採用しています。なお、共通講義については、講義室での通常の講義の他、大学院ホームページ上のeラーニングシステムを充実させ、各自の研究・研修スケジュールに合わせてそのシステムから必要な講義を効率的に受講できるよう配慮しています。以上のように、学生の主体的な学びを促進するため、本大学院は可能な限りフレキシブルなカリキュラムを提供するよう努めています。